

電 源 事 典

5 章

NSP(ノンストップ電源)

5-5 Nipron 製 NSP の適用事例

Nipron Co., Ltd.

5 5 Nipron 製 NSP 電源の適用事例

表 5.7 ノンストップ電源の適用事例(1)

適用事例	製品の機能・特徴	無停電機能搭載の背景	写真
<p>オールインワン サーバ</p> <p>NSP3-150-D2S + 鉛バッテリー</p>	<p>メール、Web、ftp、ファイアーウォール等をオールインワンにし、ISDN 常時接続回線と社内 LAN を用意するだけでこれらを活用できるようにしたサーバ。 グラフィック処理を行わないサーバは実負荷が低く、150W 品で十分対応が可能。</p>	<p>サポートの頻度を激減させたい。OS に Linux を採用している。運用は人が関与しない。停電によるシステム停止は次回起動時に異常発生の可能性が高い。</p>	
<p>工業用コントローラ</p> <p>NSP2-250-D2S + 鉛バッテリー</p>	<p>マンマシンインタフェースを提供する Windows NT とリアルタイム処理を行う VxWorks のシェアメモリを利用して連携させた工業用のコントローラ。電子部品装着機等に組み込まれる。 Windows NT と VxWorks を別々の CPU で動作させており高負荷のため 230W 品を採用している。</p>	<p>サポートの頻度を激減させたい。OS に Windows NT を採用している。工場設備に使用されるため、停電による異常発生後も生産復旧までの修復時間を最小にしたい。</p>	
<p>チップマウンター</p> <p>NSP2-250-D2S + 鉛バッテリー</p>	<p>基板に多くの種類のチップ部品を高速でマウント(載せる)する装置。 実際の演算処理には 230W 電源は必要ないが(150W で十分)、余裕を見て 230W 品を採用。</p>	<p>停電や電圧低下による影響を回避したい制御部分にノンストップ電源、影響を受けても問題のない制御部分に PCSA を採用。稼働時間が直接生産量に影響することから電源の高信頼性が求められる。</p>	

イメージ写真

表 5.8 ノンストップ電源の適用事例(2)

適用事例	製品の機能・特徴	無停電機能搭載の背景	写真
<p>ラボシステム</p> <p>NSP3-150-D2S + 鉛バッテリー</p> <p>NSP2-250-D2S + 鉛バッテリー</p>	<p>街の写真屋さんで、短時間で現像までを行うサービスを実現する現像装置。 米国の 1hour photo</p> <p>ノーリツ鋼機、コニカといった複数の会社、また複数の装置に使われており、装置の大きさに合わせて 150W 品、230W 品が採用されている。</p>	<p>店舗では必ずしも電力設備が整っていないことから、安定してコンピュータを動作させるためには UPS の機能が必要。また、装置の操作をアルバイトが行うケースが多く、電源を元から切られることがあることから自動シャットダウンの機能が必須。</p>	
<p>医療用画像処理装置</p> <p>NSP3-150-D2S + 鉛バッテリー</p>	<p>レントゲン画像を出力する装置、及びその画像を蓄積するサーバ。ネットワーク上から患者のレントゲン画像にアクセスすることが可能。 演算処理部への電力供給のみであり、150W の電源で動作可能。</p>	<p>医療対応ということで漏れ電流の少ない電源が求められたため、これに該当する電源が採用された。また、医療機関では UPS が装備されてはいるものの、直接命に関わらない部分は優先順位が低いいため、UPS が求められる。</p>	

イメージ写真